

おおやみち

第59号

平成19年(2007年)3月31日
滋賀県立安土城考古博物館

開館15周年記念 平成19年度春季特別展

縄文から弥生へ

農耕社会の形成と実年代



鳥浜貝塚出土赤彩土器
(滋賀県立考古歴史資料館蔵)



対馬シゲノタン遺跡出土銅矛
(国立歴史民俗博物館蔵)



稲吉遺跡出土土七刺
(滋賀県立考古歴史資料館蔵)



扇板3
津島遺跡出土土器
(滋賀県立考古歴史資料館蔵)



開館十五周年記念
平成十九年度春季特別展

縄文から弥生へ

— 農耕社会の形成と実年代 —

かつて弥生時代の始まりは、紀元前三世紀頃に稲作文化が北部九州に伝わり、やがて日本列島各地に広まったとされてきました。しかしながら、最近では、新しい放射性炭素による年代測定法や年輪年代測定法が開発されて、弥生時代の実年代は見直しが迫られており、弥生時代の始まりは紀元前一〇世紀まで遡るといふ説が出されて、大きな議論を呼んでいます。

今回の展覧会では、このような新しい研究動向を紹介しながら、縄文時代から弥生時代



上徳力遺跡出土銅刺
(北九州市教育委員会蔵)

への移行期の西日本の様相を、最新の考古資料を用いて展示します。

主な展示資料 (○重要文化財 □複製文化財)

○福井県鳥浜貝塚出土土品

○奈良県橿原遺跡出土土品
(福井県立若狭歴史民俗資料館蔵)

○奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵

○長崎県対馬シゲノタン遺跡出土土品
(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵)

○奈良県唐古・健遺跡出土土品
(国立歴史民俗博物館蔵)

○奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵

○大阪府瓜破遺跡出土土品
(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵)

○島根県古浦遺跡出土土品
(大阪歴史博物館蔵)

○松江市教育委員会蔵

○松江市教育委員会蔵

○松江市教育委員会蔵

○松江市教育委員会蔵

関連行事

●記念講演会

平成十九年五月三日(祝)

「近畿弥生社会の形成と実年代」

講師 国立歴史民俗博物館 春成秀爾氏

●博物館講座

平成十九年五月二十日(日)

「縄文人と弥生人の出会い」

講師 芦屋市教育委員会 森岡秀人氏

●博物館講座

平成十九年六月三日(日)

「渡来人と初期農耕文化」

講師 小郡市教育委員会 片岡宏二氏

※会場はいずれも当館セミナールーム

定員は一四〇名

(当日先着受付順、参加無料)

(財) 滋賀県文化財保護協会調査整理課通信

表情豊かな髹面土偶が出土

調査整理課では、平成一五年度から守山市赤野井浜遺跡の整理調査を行っています。今年度は、平成一五年度に発掘調査し、縄文時代から平安時代までの河道跡から出土した遺物の整理を中心に実施しています。その出土遺跡の整理中に縄文時代晩期末頃の髹面土偶を発見しました。

髹面土偶とは、目や眉、額にかけて細線でいれずみ表現されている顔の形をした土偶のことです。赤野井浜遺跡出土の髹面土偶は、顔のみの出土で、体は失われています。顔の大きさは、長さ三・四センチ、幅三・八センチ、厚さ一・一センチです。口や耳は棒やへらのような道具で窪ませ、その口の中には縦線を、耳には穴が開かれています。これらの特徴から縄文人が大笑いしているか叫び声を上げているような表情が見取れます。平成一九年二月四日(日)に開催した調査整理報告会「あの遺跡は今PART4」では、この土偶の複製品作成で、参加者にも親しんでいただきました。



髹面土偶複製品



発見された髹面土偶

収蔵資料紹介

織田信雄書状

(天正二二年(一五八四)卯月二日付)

吉村氏吉宛

二六・七cm×三八・〇cm

テレビの歴史番組では、新出資料から新事実がわかったというストーリーがよく見られますが、「本物の資料」に書かれた情報は、本当にすべて事実なものでしょうか。

この文書は、信長の二男で信長の後継者の一人と目されていた信雄の書状です。本能寺の変の後、明智光秀を山崎で討ち、織田家重臣の柴田勝家や信長三男の信孝を死に追いやっただけで、羽柴秀吉に対し、信雄は徳川家康と組んで伊勢や尾張で戦闘を行いました。いわゆる小牧・長久手の戦いです。

戦乱は他の反秀吉勢力をも巻き込み、各地で展開されました。この書状は、現在の大阪府岸和田方面での戦況を雑賀衆が信雄に伝え、信雄がそれを尾張方面で戦う家臣の吉村氏吉に書き送ったものです。

岸和田城攻撃では鉄砲二万挺を打ち、秀吉側に七百人余りの死傷者が出たことや、岸和田城主中村一氏の弟や重臣が捕らえられたこと、一氏が降伏を願っているという話が報じられていますし、後半では信雄側の兵が大坂を攻撃し、住吉や天王寺・難波まで侍町をすべて焼き払ったこと、秀吉の妻子も坂本に避

難したことなどが書かれています。ところが実際は、一氏は城を守りきって信雄側を退けていますし、天王寺や難波が焼かれた記録もありません。

でも、この文書は「本物」です。情報が混乱していたのか、小牧の決戦前に味方を鼓舞するためにわざと嘘を伝えたのかはわかりませんが、この書状だけを見ては、史実を見失ってしまいます。このように、資料から史実を抽出するには、事実とそうでない部分を情報処理するプロセスが必要なのですが、昨今の歴史ブームの中、そういう慎重な姿勢が薄れていく傾向が見られるのは、残念なことです。

(高木叙子)



安土城郭調査研究所通信

大手周辺環境整備工事について

平成一六年度から発掘成果を基に進めてきた大手門周辺地区の環境整備工事が、公衆便所部分を除いて完了しました。

平成一六・一七年度で東西石塁より上部側を整備し、今年度は、東西石塁前の広場を中心に整備を行いました。大手前広場は発掘により南北四四m、東西百m程であったと推定されていますが、現在はその中央に町道が走っているため部分的な復元となっています。

写真は東西石塁前の広場で、石塁(手前の石積み)延長上(西側)が大手門推定地です。



博物館の主な催し

6月	5月	4月	月
開館15周年記念 平成19年度 春季特別展「縄文から弥生へー農耕社会の形成と実年代ー」 4月28日(土)～6月10日(日)			展示
7月14日～9月9日 第34回企画展「城と城下の歴史遺産と観光地を中心として」 *講演、講演は当館セミナールームで行います。(無料)	27日(日) 体験博物館「石器をつくらあひ」 (要申込、先着20名) 時間：午後1時30分～午後2時 場所：安土城考古博物館 参加費：実費(材料費) 500円	3日(祝) 特別展記念講演会 「近畿弥生社会の形成と実年代」 (当日受付、先着140名) 講師：春成秀雄氏(国立歴史民俗博物館) 時間：午後1時30分～午後2時 場所：「近江風土記の丘」内の各地 参加費：無料	博物館の行事
6月21日～7月8日 写生大会作品展示	20日(日) 博物館講座 「縄文人と弥生人の出会い」 (当日受付、先着140名) 講師：森岡秀人氏(京屋市教育委員会) 時間：午後1時30分～午後3時 場所：安土城考古博物館 参加費：実費(材料費) 500円	3日(祝) 特別展記念講演会 「近畿弥生社会の形成と実年代」 (当日受付、先着140名) 講師：春成秀雄氏(国立歴史民俗博物館) 時間：午後1時30分～午後2時 場所：「近江風土記の丘」内の各地 参加費：無料	29日(日) 春のお茶会 (当日受付、約100名) 時間：午前10時30分～午後3時 場所：当館1階エントランスホール 料 金：500円 お茶、菓子代(要費)
24日(日) 博物館講座「蘇州の考古学」 (当日受付、先着140名) 講師：東田勉氏(滋賀県文化財保護協会) 時間：午後1時30分～午後3時	13日(日) 大中の湖園遊覧を深掘りする (要申込、先着30名) 時間：午後1時30分～約2時間 参加費：無料	4日(祝) 「近江風土記の丘」をめぐり「縄文から弥生へ」 (当日受付) 時間：午前10時～午後4時 場所：「近江風土記の丘」内の各地 参加費：実費(材料費) 500円	
3日(日) 博物館講座 「渡来人と初期農耕文化」 (当日受付、先着140名) 講師：片岡宏一氏(小都市教育委員会) 時間：午後1時30分～午後3時	5日(祝) 体験博物館「粘土をつくらあひ」 (要申込、先着各20名) 時間：午前10時～約2時間 午後1時30分～約2時間 場所：安土城考古博物館 参加費：実費(材料費) 500円	29日(日) 春のお茶会 (当日受付、約100名) 時間：午前10時30分～午後3時 場所：当館1階エントランスホール 料 金：500円 お茶、菓子代(要費)	

6館ガイド滋賀

滋賀県立琵琶湖博物館

ギャラリー展示「縄物・化石類-統一湖沼の大地に夢を甦る-」
 会 期：3月20日(火)～5月6日(日)
 内 容：地域の人たちが集めた縄物を紹介する展示会の第2弾。
 観覧料：無料(常設展示をご覧になる場合は一般600円/高大生400円/小中生250円)
 問合せ：TEL 077(568)4811 URL <http://www.ibm.go.jp/>

滋賀県立近代美術館

「～松園・道庵・不矩～松園賞・文化勲章受章の女流日本画家たち」
 会 期：4月21日(土)～6月3日(日)
 内 容：文化勲章受章の女流日本画家上村松園・小倉道庵・秋野不矩の作品を展覧。
 観覧料：一般900円/高大生650円/小中生450円
 問合せ：TEL 077(543)2111 URL <http://www.biwa.ac.jp/sp/kinbi/>

滋賀県立陶芸の森陶芸館

特別展「ようこそ！ためき御殿へ」
 会 期：3月17日(土)～6月3日(日)
 内 容：陶芸・絵画など数にまつわる130点を展示。国内初の狸の展覧会。
 観覧料：一般700円/高大生500円/小中生300円
 問合せ：TEL 0748(83)0909 URL <http://www.sccp.or.jp/>

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール

オペラ「ジャンニ・スキッキ」日本語上演
 公演日：9月22日(土)～23日(日)
 各日14：00～開演
 内 容：大富豪の遺産をめぐる巻き起こる痛快なオペラの傑作です。
 料 金：一般 3,000円
 青少年 1,500円
 5月27日(日)発売
 問合せ：TEL 077(523)7136 (びわ湖ホールチケットセンター)
 URL <http://www.biwako-hall.or.jp/>

滋賀県立琵琶湖文化館

小企画展示「地獄と極楽～六道絵の世界～」
 会 期：4月24日(火)～5月20日(日)
 内 容：極楽浄土の信仰から生まれた六道絵の世界を紹介します。
 観覧料：大人300円/高大生200円/小中生120円
 問合せ：TEL 077(522)8179
 URL <http://www.2ccn.ac.jp/biwa-bun/>

おおてみち 第59号
 平成19年(2007年)3月31日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
 〒521-1311 滋賀県蒲生郡安土町下豊浦6678 TEL 0748-46-2424
 E-mail: gakugei@azuchi-museum.or.jp URL <http://www.azuchi-museum.or.jp>